

TOTO

ネオレストEX1・2〈陶器部〉

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	---	---------------------

 注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

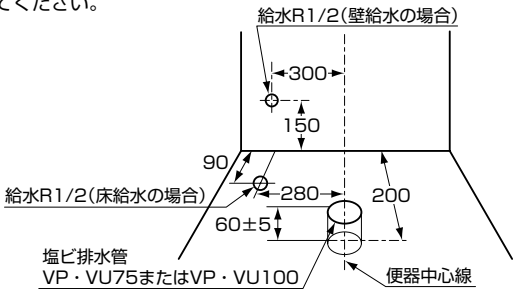
2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名 称			数量	略 図	備 考
便器			1台		質量：35.5kg
排水ソケット本体 (ゴムジョイント付き)			1個		・ 排水管補修用アダプタ HHO1001
固 定 金 具	固定片	固定片	2個		
		木ねじ (固定片用)	4本		十字穴付きタッピンねじ ナベ 4種 6×50
		座金	4個		
	ねじ袋①	木ねじ (排水ソケット用)	4本		十字穴付きタッピンねじ トラス 4種 6×60
		ボルト	2本		十字穴付きなべ木ねじ
	ねじ袋②	座金	2個		
		パッキン	2個		
	ねじ袋③	皿木ねじ	2本		
	化粧キャップ		2個		
	施工用型紙		1枚		
施工説明書		1枚	本紙		
止水栓			1個		

3 取り付け前のご注意

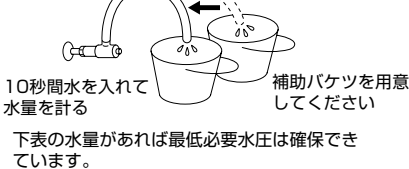
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
※室内暖房用の温風吹き出し口には150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因になります)
- 施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認してください。



- 設置前に水圧を測定ください。
最低必要水圧：0.05MPa（16.5L/min流動時）が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。
注1：洗面所や浴室などの水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。
注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。（上記水圧と流量の確保のため）

〈バケツによる簡易測定方法〉

〔測定要領〕



止水栓のタイプ	水量(10秒間)
ネオレスト用止水栓	5.0L以上
ロータンク用止水栓(壁給水)	4.3L以上
ロータンク用止水栓(床給水)	3.8L以上

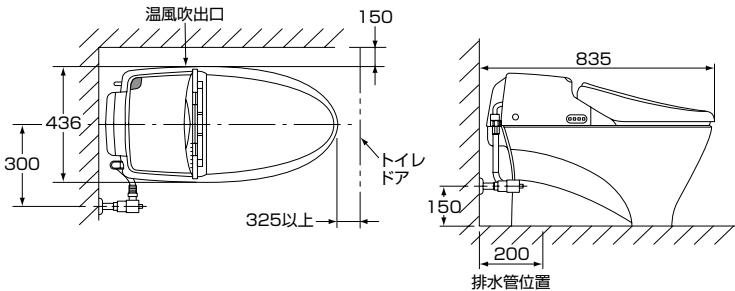
〈水圧測定専用治具による測定方法〉

HH15003（希望小売価格 ¥5,250【税込¥5,512】）を利用する。
(HH15003に止水栓は含まれておりません)
※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

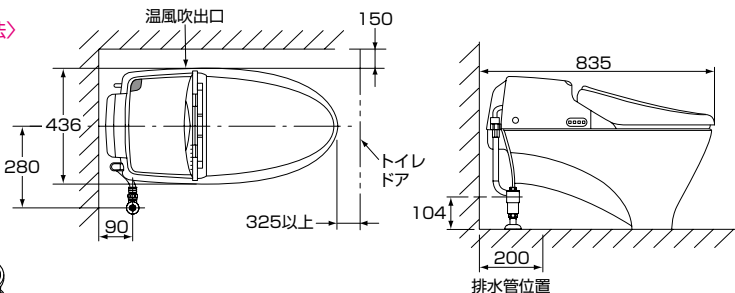


商品セット図

施工完了図（壁給水タイプの場合）

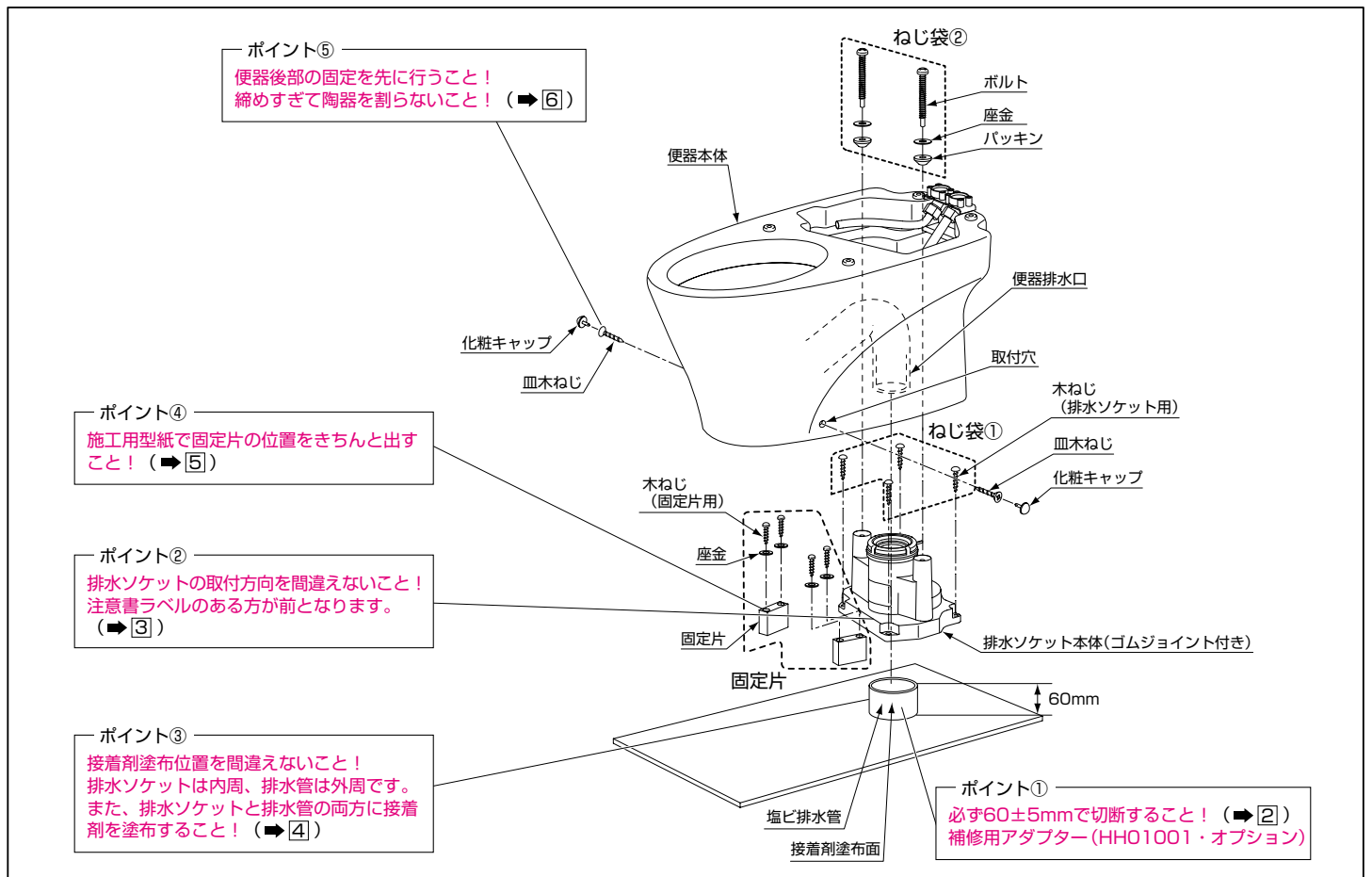


施工完了図（床給水タイプの場合）



(注) ヒーター付き便器・水抜併用方式の場合は、給水は必ず床給水としてください。

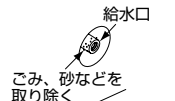
4 各部の名称と施工のポイント



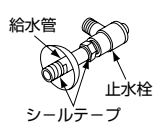
5 施工要領

① 止水栓の取り付け

① 止水栓を取り付けるとき、給水口のごみ、砂などを取り除く。



② 止水栓の給水管ねじ部にシールテープを巻く。



③ 止水栓の給水接続口を床と平行に取り付ける。

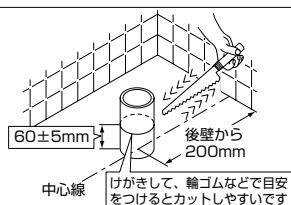


② 塩ビ排水管の立ち上げ方法

① 塩ビ排水管（VP・VU75、またはVP・VU100）を床面より 60mm の高さで切断する。

② 排水管のセンターを出して、床面に便器中心線をけがく。

③ 排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。



⚠ 注意

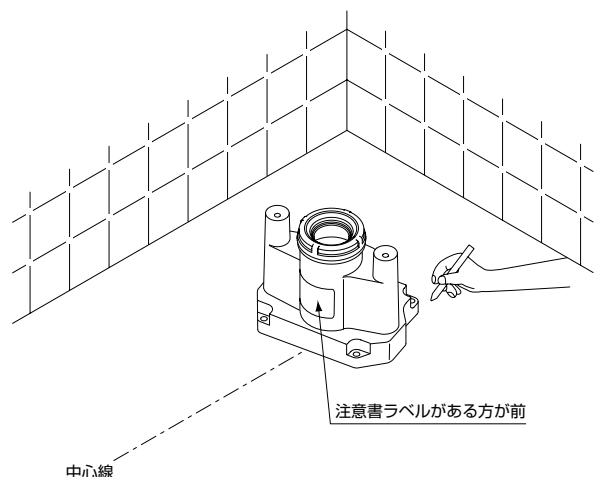
排水管の切断面にバリ・汚れがないことを必ず確認する
切断面にバリ・汚れが残っていると、排水ソケットとの接続が不十分となり水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

排水管の立ち上げ寸法を必ず確認する

65mmを超えると、排水ソケットが浮き上がり、便器が固定できなかったり、排水ソケットとの接着が不十分になり水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがありますので、やり直してください。55mm以下の場合、補修用アダプター HH01001（オプション）を使用してください。

③ 排水ソケットの位置決め

排水ソケットのラベルの面を前にし、排水ソケットの中心と便器中心線を合わせて仮位置決めをする。



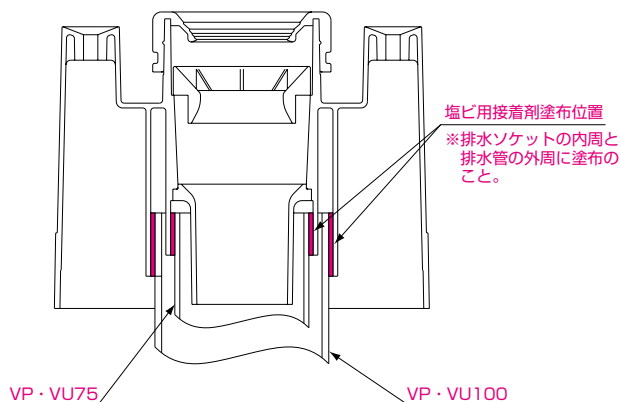
※床に木ねじをねじ込む前に、 $\phi 3$ 程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



排水ソケットは図の方向（ラベル面を前）に取り付ける
逆に取り付けると便器の施工ができなくなります。

④ 排水ソケットの接着

排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水管にいっぱいまで押し込む。



※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

⚠ 注意



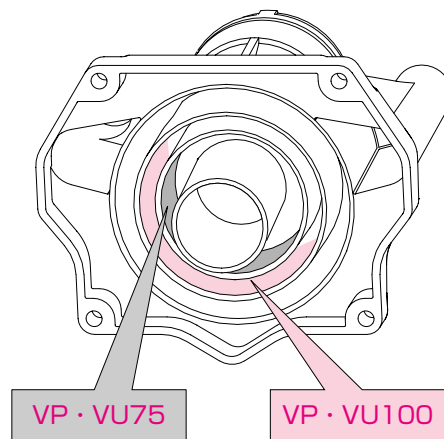
接着剤塗布位置は排水ソケットの内周、排水管の外周となり従来とは異なるので、間違えないよう注意する
また、接着剤は排水ソケット、排水管の両方に必ず塗布する
接着剤の塗布位置を間違えたり、片側のみ塗布したりすると漏気・水漏れするおそれがあります。

接着剤塗布位置

⚠ 注意



排水管の種類によって接着剤塗布位置が異なるので、注意する
また、接着剤は奥まで塗る必要はありません。刷毛が届くところまでで結構です。



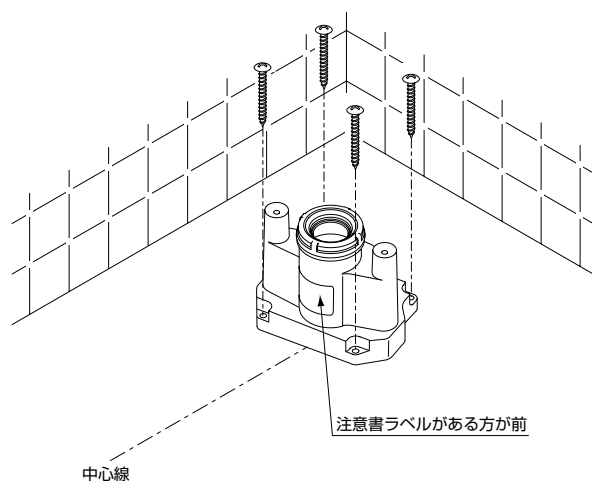
⚠ 注意



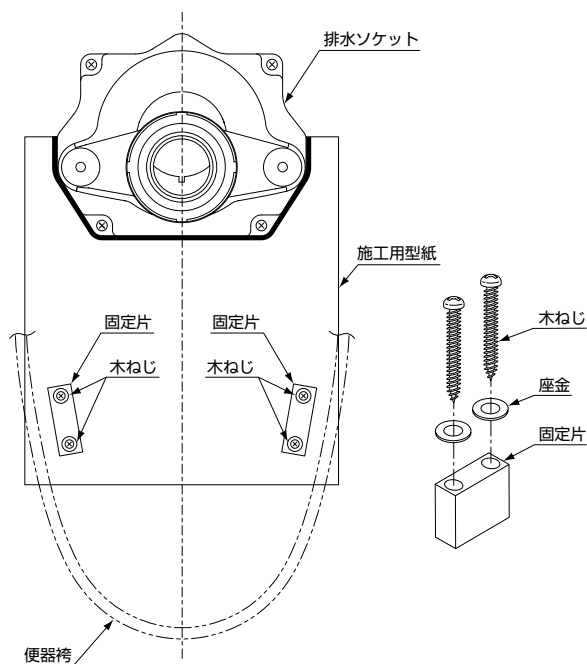
排水管の切断面にバリ・汚れがないことを必ず確認する
切断面にバリ・汚れが残っていると、排水ソケットとの接着が不十分となり水漏れするおそれがあります。

⑤ 排水ソケットの固定と固定片の位置決めと取り付け

①排水ソケットの取付穴に木ねじを入れ、4カ所を確実に締める。



- ②排水ソケットの外形に施工用型紙を合わせる。
- ③固定片（2個）を施工用型紙に合わせ、固定片取付位置をけがく。
- ④座金・木ねじで各2カ所確実に固定する。



※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
※座金を入れて、確実に木ねじを締めてください。

⑥ 便器の取り付け

①便器排水口周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

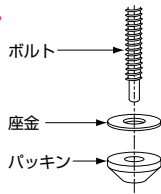
注意1

ボルトを確実に締めること
ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

②便器後側の取付穴（2カ所）にボルト・座金・パッキンを差し込み、排水ソケットに便器を固定する。

※座金とパッキンの順番・向きを間違えないこと。

※確実にボルトを締めてください。

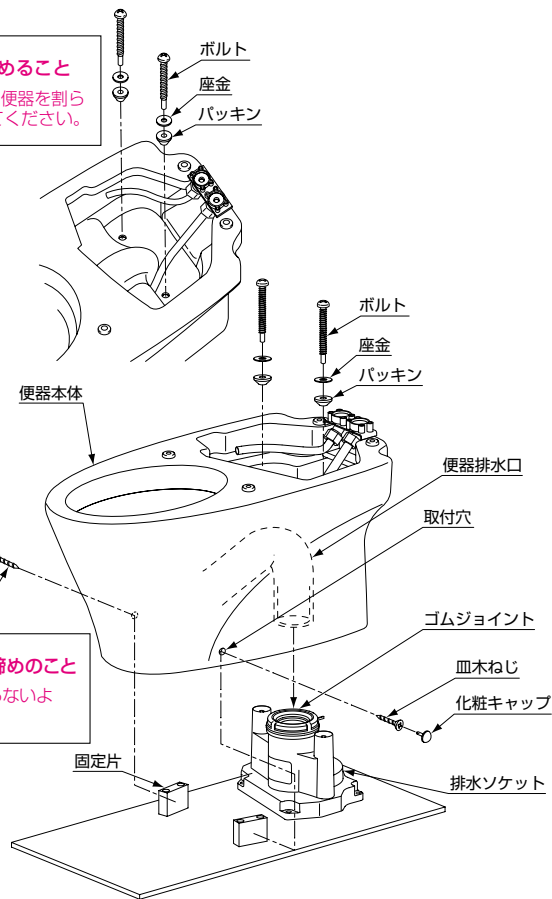


③便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。

※最後の増し締めは、手締めにより便器を割らないように注意してください。

注意2

皿木ねじの増し締めは必ず手締めのこと
皿木ねじを締めすぎて便器を割らないように注意してください。



⚠ 注意

便器後部の固定を先に行うこと

横側の固定を先に行うと、便器が左右にスライドし、ゴムジョイント部から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



⑦ ウォシュレット機能部の取り付け

ウォシュレット機能部取り付けにあたっては、機能部同梱の施工説明書をご覧ください。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

便器下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器下部周囲にシリコンシーラント剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。

